

# セメント石灰複合系固化材

# ソリッドエース #500

ソリッドエース #500 は、セメント、石灰を基本にした固化材で高含水比の土などの固化処理に適しています。特に浅層改良への使用に力を発揮し、軟弱な粘性土から含水比が高い砂質土まで改良できます。固化処理の主な機構は、セメントの水和反応と石灰の消化吸水反応などです。対象土の種類によっては、固化処理土から六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えることがあります。ソリッドエース #500 は、同一添加量の一般軟弱土用固化材に比べ、相対的に溶出量の低減が可能です。

## ■主な性状

|     |   |
|-----|---|
| 主成分 | CaO, SiO <sub>2</sub> , Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> , Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> , SO <sub>3</sub> |
| 密 度 | 3.14g/cm <sup>3</sup>   |
| 形 状 | 顆粒状混じりの粉体   |

## ■主な適用用途

- 道路の改良
- 構造物などの基礎地盤の改良
- 発生土の改良（ヘドロの改良含む）

## ■荷 姿

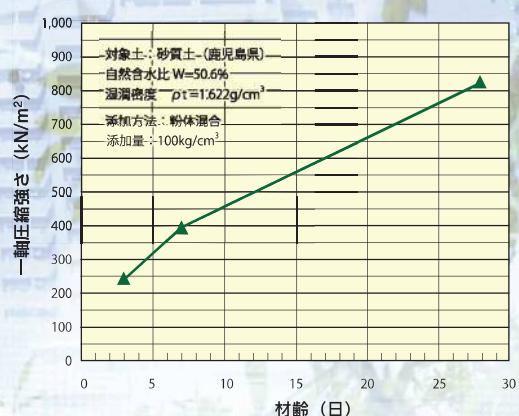
- 「フレキシブルコンテナ（1ton）」
- 「バラトラック」

## ■施工上の注意

ソリッドエース #500 は、一部生石灰が含まれるため、土と混合した直後から発熱します。これにともない、反応初期に膨張のおそれがありますので、1日程度は放置（生石灰の消化時間は4~12時間程度）するなど仮養生してから締固めなどの作業を行ってください。また、養生中は、雨水などの浸透で改良効果が損なわれることがありますので注意してください。

## ■貯蔵上の注意

生石灰は水との反応により発熱しますので、貯蔵や取扱いの際には、水、可燃物との接触が無いように注意が必要です。



麻生セメント株式会社

## ソリッドエース取扱い上のお願い

### 1. 使用上のお願い

- ①ソリッドエースは、地盤改良するためのセメント系固化材であり、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
- ②ソリッドエースと対象土の混合度合いは、改良効果に大きく影響しますので均一に混合してください。また、混合不良や過剰添加した場合に膨張を起こすことがありますので、適正な添加量でご使用ください。
- ③ソリッドエースをご使用の際は、必ず事前試験を行い、改良土からの六価クロム溶出量が土壤環境基準値以下であることをご確認ください。土壤環境基準値を超えた場合は使用しないでください。

### 2. 安全衛生上のお願い

- 本製品の安全な取扱いについては、弊社ホームページの安全データシート(SDS)をご確認ください。
- ①ソリッドエースを直接、目、鼻、口に入れたり、皮膚に触れないようにしてください。
  - ②ソリッドエースは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、皮膚、目、呼吸器などを刺激し、炎症を起こすことがあります。
  - ③ソリッドエースが目、鼻、口に入ったり、皮膚に触れた場合は、すみやかに水で洗浄し、専門医の診察を受けてください。
  - ④ご使用に際しましては、防塵メガネ・防塵マスク・手袋などの保護具を着用して

ください。

⑤ソリッドエースには、極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合は、アレルギーが起こる可能性があります。

### 3. 保管上のお願い

現場などで保管する場合は、水が浸入しないようにパレット敷きなどでかさ上げしてください(直接、地面に置かないでください)。また、雨が降る恐れがある場合は、ビニールシートなどで覆い、ロープで固定してください。

## フレキシブルコンテナの取扱い上のお願い

### 1. 吊上げ・吊下げの場合

吊ロープ、吊ベルトのフックは正しく掛け、片吊、急な吊上げ・吊下げ、横引きはしないでください。

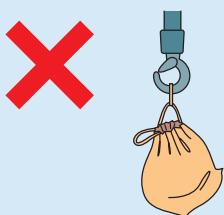
### 2. 排出する場合

吊上げたフレコンの下に入って開口作業をしないでください。また、開口部が地面にふれないよう吊上げ排出し、内容物は残らぬように全部排出してください。

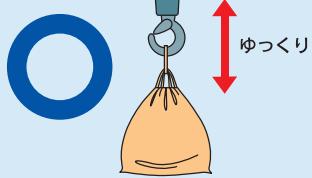
### 3. 残材処理について

ご使用後のフレコンや残材は法律に基づき適切な処理をお願いいたします。

### 1. 吊上げる場合



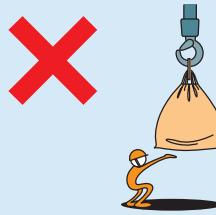
■吊ロープのフックを正しく掛け、片吊はやめてください。



■急な吊上げ、吊下げ、横引きはしないでください。



### 2. 排出する場合



■吊上げたフレコンの下に入らないでください。

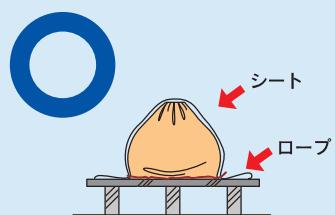


■発塵防止の為できるだけ低い位置で排出してください。



■内容物は残留しないよう全量排出してください。

### 3. 保管する場合



■仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。



麻生セメント株式会社

本 社 〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F

TEL092(833)5100 FAX092(833)5116

福 岡 支 店 〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F

TEL092(833)5110 FAX092(833)5119

鹿児島営業所 〒891-0131 鹿児島市谷山港 2-26

TEL099(262)0777 FAX099(262)0779

大 阪 支 店 〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-5-13 創建御堂筋ビル 3F

TEL06(6222)2211 FAX06(6222)2202

中 国 支 店 〒730-0037 広島市中区中町 7-22 住友生命平和大通りビル 4F

TEL082(247)9447 FAX082(247)1968

四 国 支 店 〒760-0050 高松市亀井町 8-11 B-Z 高松プライムビル 5F

TEL087(813)0295 FAX087(813)0251

刈 田 試 験 室 〒800-0311 福岡県京都郡刈田町長浜町 10

TEL093(435)1630 FAX093(435)1710

堺 試 験 室 〒592-0001 大阪府高石市高砂 2-8

TEL072(268)1639 FAX072(268)1406